

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり No.50



実行委員長
黒木 伸二

第45回広島県PTA研究大会せら大会

おかげをもちまして、第45回広島県PTA研究大会せら大会が、多くのご来賓をお招きし、県内から700人余りの会員のご参加をいただき、盛大に開催することができました。本大会の準備段階から開催当日に至るまで、多くのPTA関係者の皆様からご支援とご協力いただきましたことに対し、実行委員会を代表し心より御礼申し上げます。

今回、大会を開催するにあたり、世羅郡PTA連合会では一昨年から準備を重ねてきました。本連合会は小学校4校、中学校3校の計7校の単位PTAで組織されており、せら大会を主管するにあたって、この全7校の持てるPTA力を結束し、県内からお越しいただく会員の皆様の心に残る最高の大会にしよう！と幾度も会合を重ねてきました。

実行委員会が発足し、まずは大会スローガンを「ささえあい つなげー未来へのたすきー」としました。このスローガンは、子どもを取り巻く私たち一人一人が、互いに信頼し支え合いながら、子どもの成長を見守りつつ「襷」の輪でしっかりとつながることをイメージしました。

また、未来につながるPTAのため、社会

の変化に対応した活動を推進し、その一方で、いつの時代も変わらず大事なものを見失わないよう、PTAの歴史の中で培われてきた理念や成果を引き継ぎながら、PTAの「襷」を確実につないでいかなければという思いも込めました。

前年のやまがた大会における次年度開催PR活動では、当初の計画を実現できない状況になり、運営委員会を進める中でいろいろと紆余曲折もありましたが、大会が近づくにつれ全員の気持ちが一つになることができました。会場規模の関係で参加者数を制限せざるを得なかったことや、県P連との連携不足、また、大会当日の運営面においても至らないところが多々あったとは思いますが、大会をやり遂げたことにより、世羅郡PTA連合会も大きく成長できたのではないかと思います。

参加された皆様にとって、せら大会で得られたことが、それぞれの地域のPTA活動の一助となることを願います。次期開催予定の庄原市PTA連合会へ「襷」を渡したいと思



大会報告

大会当日は天候にも恵まれ、県内各地から多くのPTA会員の皆様をお迎えし、大会は盛大に開催されました。

世羅町立甲山小学校鼓笛隊のみなさんによる

アトラクションからはじまり、開会行事、庄原市立高野小学校PTA・高野中学校PTA、江田島市立能美中学校PTA、千代田ブロックPTA連合会のみなさんの実践発表、お昼のアトラクション「太鼓衆 せら鼓」による和太鼓の演奏に続き、「生きたつてすばらしいー未来を担う子どもたちに私たちがすべきこと」と題し、詩人の須永博士氏による講演、開会行事で無事終了しました。

須永氏の講演は、たくさんの方に囲まれた中、手話通訳を交えた旅のお話など、未来の子どもたちへ今私たちができることは何なのか。私たち一人一人が互いに支え合いながら、子どもたちの未来に向けてしっかりと「襷」をつないでいかなければならないと考える良い機会となりました。

最後になりましたが、大会運営にあたりご尽力いただきました世羅郡PTA連合会の皆様に感謝申しあげ報告いたします。

(広島県P連理事 小林 幸男)

第64回日本PTA全国研究大会 徳島うずしお大会

第64回日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会が、8月20日、徳島県内7会場で開催されました。「徳島発！渦巻く力をこれからの社会に巣立つ子どもたちのために！まけいっばいの愛を注ぎ込もう！」をスローガンに全国から4700人が集まり議論を深めました。

全体会は8月21日、徳島県阿波おどり協会の方々による踊りで始まり、(公社)日本PTA全国協議会の寺本会長が「私たちPTAは、教育の原点は家庭教育にあることを再認識し、子どもたちの将来に責任を持てる社会を創るため手を携えて進んでいきたいと思います」とあいさつされました。

記念講演では、マンガ学科のある京都精華大学学長の竹宮恵子氏のお話を聞きました。少女時代から現在に至るまでのマンガとの関わりを通じた人生観を語られる姿は、物静かなしゃべり口調の中にも、マンガの道をたくましく進んでいく女性の姿がありました。

(広島県P連会計 上野 博士)

第二分科会

『家庭教育・健康安全』

広島県P理事 渡邊さゆり

「子供たちにとっての食べることの大切さ」と題した料理研究家の浜内千波先生の講演でした。

急激に変化する社会の中で不規則な生活、バランスのとれていないメニューの中で、家庭料理や朝ごはんの大切さなどのお話をされました。

子どもたちが成長していく中、朝ごはんは一日の始まりの力になります。少しでも品数が多いほど、脳が目覚まし元気に一日を過ごすことができます。

朝は忙しくあわただしい時間ですが、子どもたちの成長を願って一品でも増やしてみようでしょうか。

また、子どもたちと一緒に食への知識を学び家庭料理を作ってみるのいいと思います。講演の最後に先生から、食育とは「親が思う心」と一言。頑張りましょう。



特別第一分科会

『日本PTA全国協議会担当』

広島県P理事 溝畑 孝

「コミュニケーション再考」と題して、女優の水野真紀さんが基調講演をされました。芸能活動を通じて、一緒に仕事をする方々に、それぞれの立場でコミュニケーションのとおり方をレポートしながら独自の持論を展開しお話しくださいました。

水野さん自身「嫌なことがあっても笑顔でいることが大切と常に鏡を見て実践している」「笑顔でいることで声をかけられやすくなり、そこから会話が始まりコミュニケーションをとれるようになる」と実体験を交えながらお話しくださいました。

また、パネルディスカッションでは、近年、メールやラインなどで話し言葉がそのまま活字になり相手に届くことで、相手の表情や言葉の背景が伝わらないまま文字だけが送られ、誤解が生じたり気持ちが悪く伝わらないことが多くあります。そこで、ネッ

うずしお大会に参加して

□「PTAの運営に悩んだら、一旦足を止めることも必要。止めてみて初めて何が必要で、何が不必要かが分かるかもしれない。」と聞いて、情性でやる企画で価値が見いだせないなら、一旦中止に踏み切る勇気も手段の一つであると思った。

□いつの大会から日程が変わったのか分かりませんが、土・日だと遠くの方は最後まで参加できず、それでなくても参加者の少ない全体会がすごく寂しい感じがしました。

□平成30年度に県P大会が庄原市で開催されるため、会場のレイアウトやアトラクション等がとても参考になった。

ト社会に対応できる言語能力を高めていく必要があるのではないかと提案がありました。スマートフォンなどの使用についても、子どもたちが、被害者にも加害者にもならないように協力することが重要だと提案されました。

現代の子どもたちを取り巻く環境は、非常に速いスピードで変化し続けています。我々大人もその変化に対応しつつ、人々とのつながりを大切にして、コミュニケーションをとることが重要だと改めて感じる事ができた分科会でした。

平成29年度
第65回日本PTA
全国研究大会仙台大会



開催予定日 平成29年8月25日(金)・26日(土)

大会予定会場 全体会：仙台市体育館
分科会：仙台市内10会場

三行詩コンクール(楽しい子育て)全国キャンペーン 〜家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ〜



平成28年7月7日(木) 県P連事務局長において、県P連理事・監事が集い審査を行いました。
応募総数2903点の中から小・中学生の部、一般の部それぞれから各五点を選出し、日本PTAへ第一次審査通過作品として推薦しました。日本PTAでは第二次三次及び最終審査の3回の審査の結果、三十点あまりの優秀作品が決定しましたが、広島県関係者の受賞はありませんでした。



第一次審査通過作品紹介

●小学生の部

- 庄原市立東小学校 6年 東 春奈
いつものごはんの食たくは
春から1つ空いている
遠くはなれた場所だけ
気持ちは一緒に「いただきます」
- 北広島町立豊平小学校2年 岡田 信太郎
いつもがんばる おじちゃん
えがおが見たくて お手つだい
- 呉市立首戸小学校3年 藤田 麻央
ごはんの時のおしゃべりは
おいしいまほうのちよう味りょつ
- 北広島町立豊平小学校1年 山口 結衣
まじこち
おおきき おにいちゃんに「じつじつじつじつ」
ちいさい おにいちゃんにも「じつじつじつじつ」
わたしは、ちいさな おかあさん
- 福山市立幕山小学校4年 甲斐 風愛
わたしには大好きなおじいちゃんがいるんだよ。
徒競走で下へになった時
でもじつじつとくれるよ。
じつじつじつじつの一歩はいつだってふうちゃん
だよ。

●中学生の部

- 東広島市立八本松中学校2年 阿登 幹紗音
「ありがとう」 たった5文字のその言葉
それが言えない年頃です。
思っているよ、「ありがとう」。
- 福山市立誠之中学校1年 藤川 幹登
あなたはね きつとたれかの 大切な人
- 福山市立誠之中学校1年 佐山 歩武
笑顔 泣き顔 怒り顔
家族で重なる 心のパレット
- 江田島市立江田島中学校1年 小跡 遥春
姉ちゃん
親には言えぬグチを言
親には言えぬ自慢言
いつも一緒に泣き笑い
痛みはいつも二分の一
笑いもいつも二倍に
- 江田島市立江田島中学校3年 小跡 友優
三月までは ひとりぼっちの帰り道
四月からは ふたりの明るい声響く
一歳違いの妹と 夕焼けの中を歩いてく

●一般の部

- 福山市立道上小学校 安田 理恵
「行ってらっしゃい」
見送る背中のレストラン。
成長とともに、小さくなる。
嬉しいような。寂しいような。
- 庄原市立高小学校 竹田 行男
一人で大きくなったようなへらさく
本当に腹が立つけど
幼いころ見せてくれた
あの笑顔を思い出すだけで
父は全てを許して下さいませ
- 福山市立新小学校 小林 和美
おひざにだっこするたびに、
笑顔も涙も 胸一杯
- 北広島町立豊平小学校 下鉄穴 崇
パパ一番
いったい、いつまで続くのか
数年後には嫁へ行く
- 北広島町立豊平小学校 近藤 彩
はりきって音読するお兄ちゃん
それをマネする妹
それを聞いてホッといやされる夫と私

楽しむ読書 役立つ読書

— 大人も本を楽しみましょう —

わが国には「もつと本を読みましよう」という法律があることをご存じですか？

正式名称は「子どもの読書活動の推進に関する法律」。その名のとおり、「子供の読書」に関する法律です。

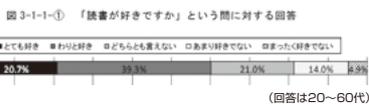
保護者の皆さんも、子供が本を読むことは良いことだということとは、漠然とでもご存じかと思いますが、「この法律では「子供の読書の効果」を次のように説明しています。

言葉を学ぶ／感性を磨く／表現力を高める／創造力を豊かにする／人生をより深く生きる力を身に付ける

なるほど、たくさんメリットがあるので国はわざわざ法律を作って推進しているのです。一方、「大人の読書」についてはこのような法律はありません。でも、だからこそ言いたい。大人も本を楽しみましょう。

「大人の読書の効果」として、先に述べた子供の効果は言うまでもありません。他にも読書により、自身の知識を深めたり、仕事や生活の問題についてヒントを求めたり、周囲の人との会話が広がったという経験もあるかと思えます。忙しい中でも「スキマ時間」を見つけて、読書を楽しむカッコいい姿をわが子に見せてあげませんか。(広島県教育委員会生涯学習課 昇 耕司)

◆実は、大人の約6割が「読書好き」



◆大人の約7割が、1か月に本を「1冊以上」読んでいます

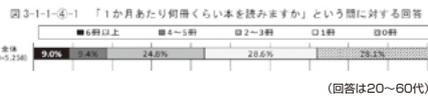


図 第3章 成人調査集計結果* 子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査 研究報告書、独立行政法人青少年教育振興機構、2013.p.37,41
http://www.niye.go.jp/kanri/upload/editor/72/File/3syoyu.pdf

道徳教育パワーアップ フォーラムに参加して

保護者部会において、世羅町立甲山中学校区の取組について報告を聞きました。

花いっぱい運動では、地域の方々と一緒に活動することで、中学生たちは地域の方からほめられ、やりがいを感じ、地域に役立つという自己肯定感を持つことができました。また、小学生は中学生からの声掛けや行動にあこがれを感じ活動できるところがよいと思いました。

クリーン大作戦では、地域の方と一緒に清掃することで、自分たちが地域の一員であることを感じることができました。その他の地域イベントへ参加することでも、地域の文化を勉強し、地域の方とふれあい、学校では学べないことを知ることによって、地域の役に立っていると認識できるよい機会となります。

また、全体講演の「特別教科の道徳」については、道徳が教科になることで問題があることが分かりました。

特に評価の面では、苦労が多いと思います。話を聞いた自分でも『それは違う』と思うことが少しあったので、生徒や保護者をもっと思われるのではないのでしょうか。答えがない、見方によって変わるものだけに評価するのは非常に難しいと思います。

特に、保護者への説明は早い時期にした方がよいと感じました。

(広島県P連理事 溝畑 孝)

保護者部会・実践報告「世羅町立甲山中学校区の取組」

自分に自信が持てない児童・生徒が増えていることが挙げられ、自己肯定感を高めるなどの取組内容についての報告があった。清掃活動や体験活動、学校全体で各種行事に取り組むことで、地域との関わりや同学年以外の子どもたちとの交流が図られ、それらの達成感がよい影響を与えていると感じた。

講演「学校・家庭・地域社会との連携を図った道徳教育」

道徳とは、関連付けるものではなく、日頃の全てが道徳ではないか。井戸端会議も部長の愚痴も頭で考えていることもすべて道徳につながる。親が変われば子どもも変わる、変わるべきはまず親。これらの言葉は、「道徳って？」と難しく考えるのではなく、普段の暮らしの中で子どもたちと向き合っていくこと、親がしっかりすることと考える。

(広島県P連理事 山田 洋子)

第47回日本PTA 中国フロッグ研究大会 広島県めぐりやま大会

期日 平成29年11月11日(土)
会場 福山緑町公園屋内競技場
(ローズアリーナ)

記念講演講師予定

明治大学文学部
齋藤 孝教授



せら大会におけるPR風景

うずしお大会分科会で、
広報紙は読みやすく！分か
りやすく！親しみやすく！
一番伝えたい事柄、情報、コ
メントなどで強調すべきだ
と学びました。

広報委員紹介

上野 博士 (府中市)
山田 洋子 (大竹市)
小林 幸男 (江田島市)
渡邊さゆり (豊田・竹原)
溝畑 孝 (安芸郡)
筒井美智子 (庄原市)

団体割引適用で 割安な保険料！

団体割引25%
損害率による割引30%適用
スクールメディカルデスク24でお子様
の健康相談を24時間受付

- 学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償
- 育英費用等

充実の補償で お子様を サポートします

- 誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)等に起因する法律上の賠償責任も対象になります。

- 授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生する急激かつ偶然な外来の事故によるケガや病気*の補償

*病気入院補償はHプラン・Wプランのみ対象です。



充実の補償でお子様をサポートします。 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度はこども総合保険のベトナムームです。この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。平成28年6月作成 募文No16-T14549



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL：082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は左記「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP